

平成 19 年 9 月 28 日	於：岐阜商工会議所内経済記者クラブ	
担当部	担当者	電話番号
情報支援部	主任研究員 若林浩一	0 5 8 - 2 7 7 - 1 0 8 5

「岐阜県の景況調査 (2007 年 第 3 四半期)」について

概況：全体として原材料高による採算は克服の兆しがあるものの、引き続き景況感は横ばい。

今回の調査結果の特徴

「景況感」は三期ぶりに上昇したものの、引き続き原材料高により小幅なものにとどまった。ただし、採算性は原材料や仕入原価の上昇分を販売価格に転嫁できるようになったことで、改善されてきている。前回調査においても、先行き不透明感から弱含みの見通しがされていたが、今回調査においても来期見通しは厳しいものとなっている。

業種別に見ると製造業については、「受注量 D I」が四期連続で低下、「設備投資 D I」も意欲・実施ともに低水準であるなど前回同様、先行きへの不安を漂わせる結果となった。これに対し、非製造業については、「売上高 D I」、「受注量 D I」、「販売価格 D I」、「採算 D I」等が製造業に比べ高く、相対的に良好な結果となった。

来期については、「売上高 D I」の低下により「景況 D I」は若干悪化の見込みである。

D I 別の状況

景況 D I は、1.8 ポイント上昇し 29.9 となり、三期ぶりに改善した。製造業では、「繊維・衣服」「木材・家具」「紙・パルプ・印刷」は上昇し、「食品」「化学・プラスチック」「窯業土石」等は低下した。非製造業では、「運輸・通信」「卸売」「飲食店」「サービス (余暇関連)」が上昇したものの、「建設」、「サービス (企業関連)」等が低下した。

売上高 D I は製造業を中心に低下した。製造業では、「化学・プラスチック」「繊維・衣服」等が上昇し、「食品」「紙・パルプ・印刷」「窯業土石」「金属製品」等が低下した。非

(財)岐阜県産業経済振興センター

製造業は「小売」「サービス(企業関連)」を除くすべての業種で上昇した。

生産量D Iは四期連続で低下した。「化学・プラスチック」「繊維・衣服」「木材・家具」等は上昇したが、「食品」「窯業土石」「紙・パルプ・印刷」等は低下した。

受注量D Iは製造業で四期連続低下したが、非製造業では二期ぶりに改善した。製造業では「食品」「窯業土石」「金属製品」等が低下し、非製造業では「建設」「サービス(余暇関連)」等の業種で上昇した。

在庫量D Iは三期ぶりに上昇した。製造業では「窯業土石」「繊維・衣服」を中心に上昇し、非製造業では「建設」「飲食店」が低下した。

販売価格D Iは製造業、非製造業ともに上昇した。製造業では「化学・プラスチック」「紙・パルプ・印刷」等が上昇し、非製造業では「飲食店」「小売」等が上昇した。

原材料仕入価格D Iは若干低下した。製造業では、「金属製品」「機械」が10ポイント以上の大幅な低下となった。非製造業では、「飲食店」「小売」が10ポイント以上の大幅な低下となった。

採算D Iは非製造業を中心に改善した。製造業では、「金属製品」「機械」を除くすべての業種で低下した。非製造業では、「卸売」「小売」が10ポイント以上改善した。

資金繰りD Iは悪化した。「窯業・土石」「金属製品」「飲食店」が大幅に悪化した。
借入れ難易感D Iは三期ぶりに改善し、製造業はすべての業種で改善した。

設備投資では実施D Iは上昇したが、意欲D Iは三期連続低下した。実施目的は製造業が『生産能力拡大・売上増』、非製造業が『補修・更新』が第1位となった。

設備投資意欲D Iでは「窯業・土石」「金属製品」「機械」等が大幅に低下した。

雇用D Iにおいては、十五期連続で「不足」超過となり、「不足感」が依然として強い。